

C3 WRC、初ステージウインをチュリニ峠でマーク！

モナコの背後にそびえる山岳路を走行するラリーモンテカルロの最終日は、ステファン・ルフェーブルが能力の高さを示しました。フランス出身の若手ドライバーは、伝統のステージであるチュリニ峠で見事な走りを披露し、C3 WRC に今季初となるステージウインをもたらしました！ 総合 5 位を獲得したシトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチームのクレイグ・ブリーンとステファン・ルフェーブルが、2017 年世界ラリー選手権 (WRC) で初のドライバーズポイントを獲得しました。



- ▼ 日中のサービスが行われない最終日は、チュリニ峠の 2 カ所のステージを 2 回ずつ走行する、魅力的な設定です。
- ▼ 天気予報では、昼にかけて降雪の可能性を予想しており、ドライバーたちはこのセッションのタイヤ選択に頭を悩ませました。シトロエン陣営は、ステファン・ルフェーブル／ギャビン・モロー組 (シトロエン C3 WRC) がミシュランのパイロット・スポーツ S5 (ソフトコンパウンド) を 4 本と、ウィンタータイヤのパイロット・アルパン Q4/R1 (スタッドなし) を選択しました。クレイグ・ブリーン／スコット・マーティン組 (DS3 WRC) はパイロット・スポーツ S5 (ソフト) を 2 本、SS5 (スーパーソフト) を 2 本、ウィンター (スタッドなし) を 2 本とミックスさせました。
- ▼ SS15 では、ルフェーブルのタイヤ選択が功を奏し、チュリニ峠で見事なパフォーマンスを披露。C3 WRC の初ステージウインをマークしました。
- ▼ ステージ上に観客があふれ出したことで、安全性の理由から SS16 がキャンセル。最終の SS17 でルフェーブルは、2 回目の走行でアクロバティックなスキルを発揮しました。雪が積もるなか、ルフェーブルは不利なスリックタイヤを履きながらも絶妙な走りで、C3 WRC を道の上にとどまらせました。さらに、パワーステージでもセカンドベストタイムをマークしたルフェーブルは、総合順位をふたつ上げた 9 位でフィニッシュを果たしました。
- ▼ 総合 4 番手からこの日をスタートしたブリーンでしたが、ライバルが駆る 2017 年型のワールドラリーカーに対し、旧世代のマシンでは歯が立ちませんでした。ひとつ順位を下げてしまいましたが、それでもトップ 5 でのラリーフィニッシュは、今ラリーで大注目のパフォーマンスとなりました。
- ▼ これで、ドライバーズ選手権では、ブリーンとルフェーブルがそれぞれ 5 位、7 位につけています。ルフェーブルの順位により、シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチームは、マニファクチャラーズ選手権 4 位でこの週末を終えました。
- ▼ 次戦 WRC 第 2 戦は、約 2 週間後の 2 月 9 日～12 日、雪のスウェーデンで開催されます。



チームコメント

■イブ・マトン(シトロエン・レーシング チーム代表)

「事前のテストではいいかたちでいけそうな感触があっただけに、今回のラリーでは、もっといいリザルトを期待していました。計画どおりに進まなかった週末ではありましたが、喜ぶべき点もありました。マシンのパフォーマンスは安定していたし、クレイグのペースと、最終日にステファンがマークしたタイムも満足できるものでした。C3 WRCに、生来のポテンシャルがあることは証明できました。スウェーデンから始まる今後のラリーに対しては、ポジティブに捉えています」




■ステファン・ルフェーブル

「ラリーモンテカルロは、スタートした時よりも格段にいいかたちでフィニッシュできました。チュリニ峠でのステージウインも含め、素晴らしいタイムを2回マークでき、チームの士気が高まるようなフィニッシュだったと言えるでしょう。いいタイヤチョイスができたし、私がよく知っているモンテカルロのコンディションだったので、自信も感じられました。同時に、チームのためにポイントを確実に獲ることが重要だったため、リスクを避ける走りに徹しました」

■クレイグ・グリーン

「コンディションは、信じられないくらい難しいものでした。だからこそ、チュリニ峠のステージは、シーズンのアイコンなのだと思います。最終 SS のパワーステージはスノータイヤで行くべきかどうか悩みましたが、スタッドなしのスリックのままを選んだので、ステージが進むごとに難しくなっていました。でも最後まで走り切ることができ、トップ5にとどまれたのだから、素晴らしいリザルトだと思います」

世界ラリー選手権(WRC) 第1戦モンテカルロ(モナコ) 最終結果

1.	セバスチャン・オジエ/ジュリアン・イングラシア	フォード・フィエスタ WRC	4:00:03.6
2.	ヤリ・マティ・ラトバラ/ミーカ・アンティラ	トヨタ・ヤリス WRC	+2:15.0
3.	オット・タナク/マルティン・ヤルベオヤ	フォード・フィエスタ WRC	+2:57.8
4.	ダニ・ソルド/マルク・マルティ	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+3:35.8
5.	クレイグ・グリーン/スコット・マーティン 	シトロエン DS3 WRC	+3:47.8
6.	エルフィン・エバンス/ダニエル・バリット	フォード・フィエスタ WRC	+6:45.0
7.	アンドレアス・ミケルセン/アンダース・イエーガー	シュコダ・ファビア R5	+9:32.7
8.	ヤン・コペツキー/パベル・ドレスラー	シュコダ・ファビア R5	+12:58.1
9.	ステファン・ルフェーブル/ギャビン・モロー 	シトロエン C3 WRC	+14:43.8
リタイア	クリス・ミーク/ポール・ナゲル 	シトロエン C3 WRC	メカニカル

FIA チームズ スタンディングス

1.	M スポーツ・ワールドラリーチーム	40
2.	トヨタ・ガズー・レーシング WRC	24
3.	ヒュンダイ・モータースポーツ	20
4.	シトロエン・トタル・アブダビ WRT 	10